

博士学位論文審査申請書類作成上の注意事項

I. 共通事項

様式については、九州工業大学学位規則及び九州工業大学大学院工学府博士の学位審査に関する取扱内規に定めるところによる。用紙はA4版とする。

II. 論文目録

A. 論文

(1) 題名について

- ① 題名（副題を含む。）は、提出論文のとおり記載し、外国語の場合は、和訳を（ ）で併記すること。
- ② 題名を異にする数個の論文をまとめて1編の学位論文としたものについては、その総合の題名を記載し、個々の題名は記載しないこと。

(2) 印刷公表の方法及び時期について

- ① 公表は、単行の書籍または学術雑誌等の公刊物（以下「公表誌」という。）に登載して行うものである。（第三者が申請者の博士論文を構成する論文として挙げることができない、という趣旨である。）
- ② 公表誌は、学術資料として大学その他の学術機関において保存され、随時閲覧に供するものを指す。
- ③ 未公表のものについては、その公表の方法、時期の予定及び原稿枚数を記載すること。申請時において予定が定まっていない場合は「未定」とし、公表後に学位論文公表報告をすること。
- ④ ここに記載する論文を申請者の博士論文を構成する論文とすることについては、コレスポンディングオーサーの許可を取っておくこと。

B. 参考論文

- ① 参考論文は、学術雑誌、Proceedings等、全体を古いものから順をおって記載すること。記載方法は、記入例によること。
- ② 共著のものについては、記入例によること。

III. 論文要旨

英語で作成する際は「日本語 2,000 字(英字半角 4,000 字)相当」を目安として A4 2 頁程度にまとめること。

IV. 履歴書

(1) 氏名・本籍地・現住所について

- ① 通称等は用いないこと。外国人は氏名を正確に記載すること。
- ② 住民票に記載されている住所を記載すること。
- ③ 外国出張等で長期にわたり海外に在住する予定である場合は、その居住地を記載すること。国内連絡先がある場合は、その旨を申請時に申し出しておくこと。

(2) 学歴について

- ① 新制大学卒業以後の学歴について、年次をおって記載すること。
- ② 入学、進学、休学、復学、退学、編入学、卒業及び修了等、在学中における身分上の異動について漏れなく記載すること。
また、大学卒業資格を持たない場合は、高校、高専等学歴を記載すること。

(3) 職歴について

- ① 常勤の職について、その勤務先および職名等を年次を追って記載すること。
ただし、非常勤の職であっても、特に教育・研究に関するものについては記載することが望ましい。
- ② 現職については、当該所について記載した箇所に「現在に至る。」と明示すること。

(4) 研究歴について

- ① 学位申請上、特記すべきものと思われるものについて、年次を追って事項別に記載すること。
- ② 学術に関する研究歴として記載する事項は、おおよそ次のようなものであること。
 - a. 研究課題（共同研究を含む。）に関するもの
 - b. 研修に関するもの
 - c. 学術調査に関するもの
 - d. 研究発表（著書・論文等）に関するもの
 - e. 学術奨励金に関するもの
 - f. 学会に関するもの
 - g. その他、学位審査の参考となるもの

※日付けは和暦・西暦のどちらかに統一表記

年 月 日

論文目録

氏名

論文

1 題名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究
(外国語の場合は、和訳を併記)

2 印刷公表の方法及び時期

※学術雑誌、Proceedings等、古いものから順に記載すること。
公表済・採録決定したものに限る。(投稿中のものは含めない。)

- 雑誌第○巻第○号 pp. ○○－○○ (○○年○○月)
- 雑誌第○巻第○号 pp. ○○－○○ (○○年 ○月)
以上公表済
- 日本○○学会論文集
(原稿枚数○○枚またはページ数○○ページ) (○年 ○月)
公表予定

参考論文

※学術雑誌、Proceedings等、古いものから順を追って記載すること。
タイトルが長い場合は、区切りの良い箇所で行、余白を設けること。
上記2 印刷公表の方法及び時期 に記した論文を含めること

← (1行余白をとる。) →

1. ○○○ | ← (余白) →
○○
××雑誌第○巻第○号 pp. ○○－○○ (○○年○○月)
著者 △△△△、××××、◎◎◎◎

← (1行余白をとる。) →

2. ○○○ | ← (余白) →
→ ○○○
(外国の学会論文集、学術雑誌名) Vol.○○、No.○○、pp. ○○－○○ (○○年○○月)
著者 ☆☆☆☆、××××、△△△△

次ページ以降へ続く場合は、記載項目の途中で改ページしないこと。

備考 1. 論文題目名が外国語の場合は、訳を付すこと。
2. 未公表の場合は、原稿の枚数を記入すること。
3. 参考論文がある場合は、その題名を列記すること。

(記入例)

履 歴 書	
ふりがな 氏名 生年月日	年 月 日生
本 籍	都 道 府 県 (国)
現 住 所	都 道 区 市 町 府 県 郡 村 番地
<p>学 歴</p> <p>〇〇年 3月 九州工業大学工学部〇〇学科 卒業</p> <p>〇〇年 4月 " 大学院工学府博士前期課程〇〇専攻 入学</p> <p>〇〇年 3月 同上 修了</p> <p>〇〇年 4月 " 大学院工学府博士後期課程〇〇専攻 入学</p> <p>〇〇年 3月 同上 修了見込</p> <p style="text-align: right;">(または、単位取得退学予定、退学等記入) ↑</p> <p>職 歴</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>研 究 歴</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p>	
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">氏名</p>	

備考

- 1 学歴は、新制大学卒業以後又は最終学歴を記載すること。
- 2 研究歴には研究した事項とその期間を明記すること。なお、学歴又は職歴に記載した期間中に研究歴に該当するものがある場合は、それについても記載すること。
- 3 本籍は都道府県のみを記載し、外国人の場合は国籍を記載すること。